夢あふれる学校図書館見学会 江田島市立大柿中学校会場の様子

【参加者アンケートより】



・　学校図書館の環境整備によって、生徒が過ごしやすい環境が作れることが分かりました。学校の中に、生徒が授業や学級以外でも安心して過ごせる環境を作ることは、とても良いことだと思います。大柿中学校の取組を参考に、まずはすぐにできること（図書委員会を活用しての読書活動の推進（しおりの作成や季節の掲示物の作成など）、本のレイアウトの工夫（面出しや今月のおすすめ本などの置き方）、読書スペースの工夫（机や椅子の配置、ゆっくり読書ができるようにする）、そして、学校司書と連携して作業すること（古書の除籍作業、本のレイアウトの変更（分類番号のうちの分野ごとの配架））に分けて行っていきたいです。



・　見学を通し、生徒が思わず本を手に取りたくなるような、表紙を見せる配架や季節の特設コーナー、生徒が主体で取り組まれた手書き POP や推し本コンテストなど、細やかな工夫が随所に凝らされている点に深く感銘を受けました。今回学ばせていただいた内容を、ぜひ今後の取り組みに生かしていきたいと思います。具体的には、すぐできる環境づくり（カフェ化、表紙を見せて飾る）、入り口の工夫（季節や話題の「特設コーナー」を作る）、生徒を巻き込む参加型の仕組み（投票イベントや生徒が書いた POP の展示、「推し本コンテスト」の開催）、授業や地域との連携による学習センター化（授業用パックの作成）に取り組みたいと考えています。





・　あまりの素晴らしさに感動で胸がいっぱいになりました。所属している学校の職員にも見せたいです。所属校でも、まずは残したい本を選ぶことから始めたいと思います。大柿中学校のように何時間でも過ごせるような場所作り、どの本も手に取りたくなるような選書を目指したいです。現在、所属校でも、生徒に、買って欲しい本のアンケートを常時取っています。生徒の希望が叶えられるように頑張りたいです。



・　おみくじ箱の作り方を教えていただきました。カウンターなどに設置したら普段図書室へ来ない生徒が来てくれるきっかけにもなるのではないかと思うので、やってみます。また、中学校の蔵書構成、司書の季節ごとの取り組みや図書委員を交えての企画など、とても興味深く参考になりました。





